

栽培マニュアル キュウリ ～天敵利用による省力的防除～

○作型

作型	月旬	10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
つる下げ促成		△	—	—	—	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■													
天敵放飼時期					①	②																															
クレオメの栽培		■	■	■													○	—	—	△	—	—	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			

(凡例)

△：定植 ■：収穫 —：栽培期間 ○：播種 ①：カブリダニ（リモスワセット）芯放飼、タバコカスミカメの放飼 ②：カブリダニ（リモスワセット）カップ放飼

○天敵放飼前後の防除ポイント

- ・定植後は防除効果の高い農薬を散布し、放飼前の病虫害数を十分に減らしておく（**ゼロ放飼**）。
- ・さらに、放飼までは、農薬の天敵影響期間を確認し、計画的な防除を行う。
- ・放飼後2週間は、天敵に影響のある農薬は散布しない（**殺菌剤や点着剤にも注意**）。
- ・放飼後からは月1回程度で防除を行う。
- ・天敵温存植物（クレオメ等）を活用し、天敵の定着・維持を行う（**バンカー法**）。

○天敵放飼の方法

①成長点放飼（定植から3週間後ごろ）

1. 天敵製剤（リモニカ及びスワルスキー）のボトルを10分程度横向きに静置する。
2. ボトルを横向きにしながら、ゆっくり10回転させて、均等になるように混ぜる。
3. 混用器にリモニカとスワルスキーを半分ずつ移し入れる。残っているスワルスキーをリモニカに移し入れる。
4. 2種類の天敵が均一になるように、各ボトルを横にしてゆっくり20～40回転させて混和する。
5. キュウリの成長点に振りかける。
6. 放飼後の蓋と容器を株元に横向きに置いておく。

※放飼器の使用方法については、Arysta LifeScienceの「リモスワ」天敵混用放飼器の使用方法参照。

②カップ放飼（1000 個/12a）

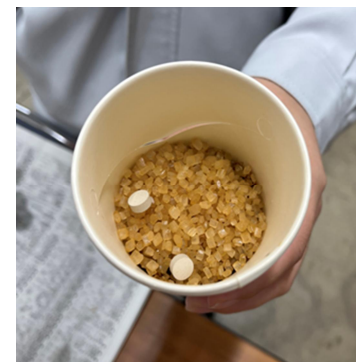
1. 粃殻を 25kg 程度用意し、天敵を混合する前日に十分に水を加えておく。



2. 水滴が落ちないくらい水気を切り、カップに詰める。



3. 粃殻をカップの 1/3 程度詰めた後、ザラメ砂糖 15g 及びビール酵母 2 錠を入れる。



4. ほ場内でカップに天敵を放飼し、植物体付近のエスター線等にかけていく。

